

# 法律家ら100人「NO」

## ウォッチ

### 安保国会

参院特別委で審議中の安保保障関連法案を巡って、元最高裁判事や元内閣法制局長官、憲法学者など法律の専門家ら100人余りが26日、弁護士会館(東京都千代田区)に集まり、法案を「違憲」と指摘し反対の意思を示した。▼1面参照

日弁連が専門家らを一堂に集め、立場の違いを超えて訴えようと企画。出席者の一人、中野晃一・上智大教授(政治学)は「法曹、憲法学の最高権威が並んだ。こんな場は見たこともない」と評した。

終戦時9歳だったと語り始めた元最高裁判事の浜田邦夫さんは「戦後民主主義教育の第一陣と自負する世代として容認できない」と安保法案の廃案を求めた。

元最高裁判事の那須弘平さんもメッセージを寄せた。

内閣法制局長官経験者からは2人が登壇。大森政輔さんは、歴代内閣が集団的自衛権を「一貫して違憲と結論づけてきた」とした上で「(安倍政権は)閣議決定で覆し、法的安定性を自ら害した」と発言した。

宮崎礼喜さんも「集団的自衛権は、自国が攻撃されていないのに他国間の紛争に介入する権利。憲法9条の容認するものであるはずがない」と指摘した。会見後には法曹以外の学

者らも参加し、日比谷野外音楽堂で集会を開いた。石川健治・東大教授(憲法学)は「日本国憲法の体制の連続性、法的連続性が断たれるという事態は、革命もしくはクーデターだ。会場内外に約4千人(主催者発表)が集まり、集会後に国会まで行進した。(後藤遼太)

### 108大学も「反対」

全国の大学で教員や卒業生らがつくる「有志の会」も26日、都内で共同記者会見を開いた。現時点で少なくとも108の大学が反対

声明を出しており、うち80大学から教員ら250人が集まった。

「有志の会」は7月ごろから各大学で立ち上がり始めた。それぞれが声明文を出し署名を集めてきたが共同で行動するのは初めて。声明をまとめた冊子を同日、全参院議員の事務所には創価大・創価女子短大の「有志の会」からも出席。非常勤講師の佐野潤一郎さんは「私たちの大学出身の公明党議員にもぜひ反対していただきたい」と話した。